

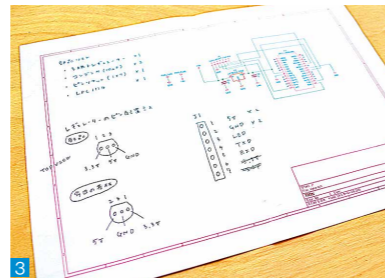
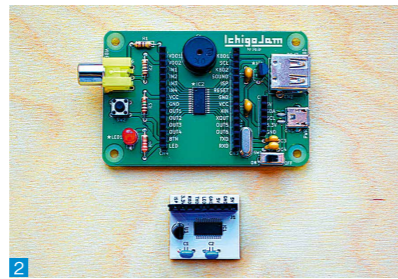
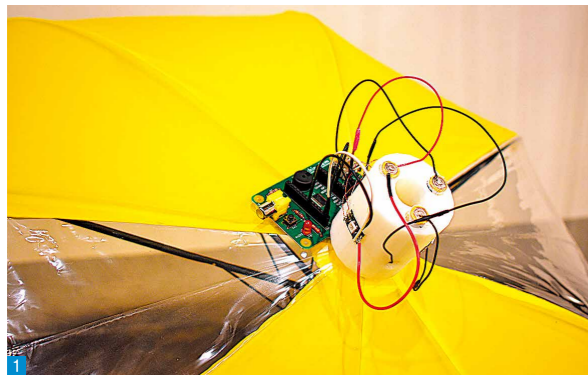
地域から生まれる課題をプログラミングで解決! **イチゴベースコラボ**

IchigoBase通信 vol.3

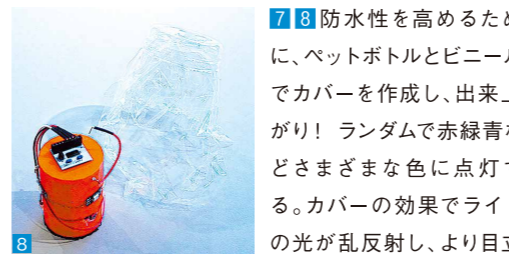
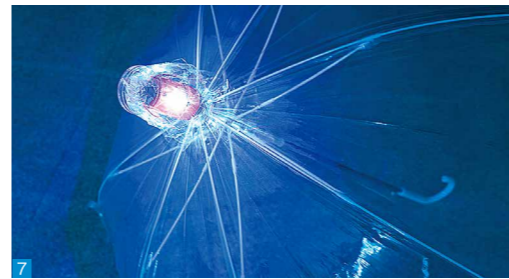
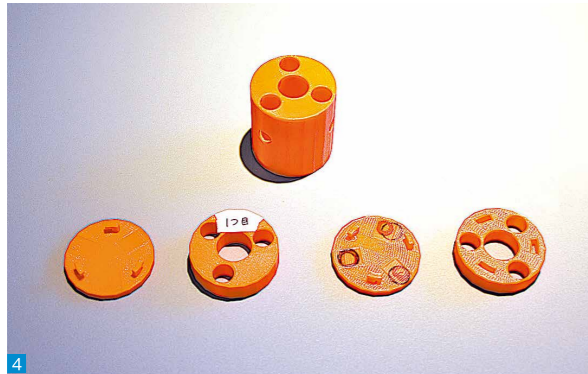
プログラミングを通してメンバーが集まり、地域社会に必要なプロダクトを生み出す“秘密基地”の活動の様子をお届けします。

傘安全ライト完成!

県内の人から届いた「悪天候でも子どもたちが安全に登下校できるようにしたい」という依頼。今年2月から開発をスタートし、約5か月間のトライアルアンドエラーを経てデモ機が出来上がりました。



1雨天時の暗い中で目立つよう、傘の先端につけるライトを作る。写真は初期の試作品。ここから見た目の改良を重ねていく **2 3** LEDの点灯プログラムを書き込んだ基板。元のサイズでは大きすぎたため、回路図を設計し、小さく作り直した **4 5** 本体から電池が外れるのを防ぐためのフタを作成。3Dデータを作り、プリントし、ぴったりはまるよう調整していく **6** 点灯した様子を確認し、さらに調節を繰り返す



7 8 防水性を高めるために、ペットボトルとビニールでカバーを作成し、出来上がり! ランダムで赤緑青などさまざまな色に点灯する。カバーの効果でライトの光が乱反射し、より目立つようになった **9** 依頼人に来てもらい、完成したデモ機やこれまでの試作品を見せながら製作過程を説明。「イメージ通りのものが出来ていて驚いた。子どもに使わせたい」と嬉しい感想をもらった。これから集団登校のモニター実験等を行っていく予定



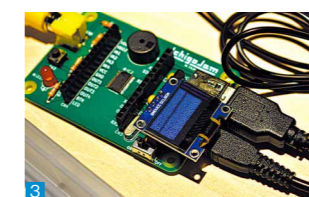
量産化を手伝ってくれる企業を募集!
右記のメールアドレスまでご連絡ください。

次なる挑戦! 葉色診断センサーを作ろう!

高品質なコメの栽培と安定収穫のために重要な稲の葉色測定。目視による判別ではムラがあるという悩みを持つ農家さんからの依頼で、誰でも簡単かつ正確に判別できるセンサー作りにチャレンジしています。



1 既存の「葉色カラースケール」。1(薄い)から7(濃い)まで設定されている色と、生育中の稲葉の色を目で見て比べ、肥料調整などを判断する **2 3** 基板に有機ELディスプレイとセンサーを取り付け。センサーで葉の色を読み取り、ディスプレイに判別結果の数値が表示される仕組みを目指す **4** どのようなプログラムにすれば、センサーが判別した色を数値化してディスプレイに表示できるか考えて改良を進めていく



事務局からのお知らせ

メンバーについて

ものづくりやプログラミングに興味がある小中高生を募集中。特に中高生をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。※一定程度のプログラミングの知識やスキルが必要です。

✉ ichigobase@gmail.com

🌐 <https://ichigobase.net/>

🐦 [Twitter @Baselchigo](https://twitter.com/Baselchigo)

困りごと募集

IchigoBaseで取り組んでほしい困りごとを募集しています。

地域や企業の課題解決を目指す活動の様子を、Twitterでも発信しています。

【運営】福井新聞社・ナチュラルスタイル

【協賛】福井コンピュータホールディングス株式会社

株式会社 法美社